

空襲被害者等の援護立法の実現を求める

全国空襲連

会報 No.5

2012・10・25

立法化の歴史的意義と運動 空襲被害者等援護法の制定へ

共同代表 中山 武敏

日本の戦前の植民地支配、侵略戦争は、アジアとくに朝鮮半島や中国の人々に甚大な被害を与えた。いわゆる「従軍慰安婦」(強制性奴隸)問題、朝鮮・中国人の強制連行・強制労働問題、中国遺棄ガスや住民虐殺、重慶大爆撃、朝鮮人BC級戦犯問題等未解決のままである。

国内にあっても東京大空襲を始めとした全国各地の空襲被害、広島・長崎の原爆被害、沖縄地上戦での被害等の補償も放置されたままである。

戦後の日本政府の責務は内外の戦争被害者に対する真摯な謝罪と補償をなすことであった。しかし、日本政府は、外国人の被害者の補償はなさず、国内にあっても軍人・軍属のみを補償するといった歪んだ戦後補償政策を取り続けていた。

竹島(独島)問題、尖閣諸島(魚釣諸島)問題を契機に排外的なナショナリズムが扇動され、日米安保や防衛力の強化、集団的自衛

権の承認、行使への動きも強まっている。自民党は本年4月27日、憲法第1条(天皇)天皇は、「日本国の元首であり」とし、第9条の2に「国防軍を保持する」と規定する等との日本国憲法改正草案を決定、発表している。

このような情勢の中で、「国の責任において空襲・艦砲射撃の被害者及び遺族の救済処置、全国の空襲被害等の実態調査を行う」ことを趣旨とする法案を成立させることは未解決の植民地支配などの戦後補償問題解決に道を開き、現在の危険な情勢に楔を打ち込み、未来への平和にも繋がる歴史的意義を有すると確信する。



第3回役員会

全国空襲被害者連絡協議会 〒131-0045 東京都墨田区押上1-33-4 中村ビル102
TEL/FAX: 03-5631-3922 E-mail: tokyokusyu@coral.bforth.com

URL: <http://www.geocities.jp/jisedainitakusu/>
<http://www.zenkuren.com/index.html>

共同代表: 早乙女勝元 中山武敏 荒井信一 前田哲男 斎藤貴男
連絡先: 〒131-0045 東京都墨田区押上1-33-4 中村ビル102 TEL/FAX 03-5631-3922
年会費: 個人1口 2,000円 団体1口 5,000円
郵便振替: 00130-8-623364 (口座名: 全国空襲被害者連絡協議会)

全国空襲連が 日本被団協と連携を 強めて共同へ

全国空襲連と東友会の懇談



8月29日、全国空襲連の星野運営委員長、足立史郎事務局長らが東友会を訪れ、飯田マリ子代表理事、大岩孝平・山本英典業務執行理事らと懇談し、空襲被害者援護法成立と沖縄の民間被害者への償いを求めるための署名運動と議員への賛同署名、自治体

(以下「東友会」と呼称)とは結成当初から加入、運営委員会に参加していただき連携がありました。国が起した戦争で被害を受けた国民としての共通性から、国の責任を求める、戦争被害受忍論を打ち破るため、お互いの署名、自治体の意見書採択等への協力共同の関係を中心でも地域においても強めていくことになります。

国の責任の実現「受忍」打破へ

とし、日本国籍を持たされていた人びとへの道を開いています。第3に、死没者に対して弔慰金を支給すること。第4に、孤児に対する施策があること。特別給付金が支給されることです。

東友会、日本被団協が国家補償の被爆者援護法の改正を求める運動に、これら四つの課題の実現ができれば、被爆者と原爆孤児の施策も大きく前進すると評価しています。

(文責・編集部)

空襲援護法素案 「東友会」評価の要点

東友会の機関紙「東友会」No.335で空襲援護法素案の画期的な評価を4点にしほり、約600字で紹介しています。その要点は、第1に一般空襲とともに広島・長崎への原爆被害者も対象にしていること。第2に、当時「日本国籍を有していた者」

結成2周年(8/15)▷最高裁上告(8/29)▷超党派議連(8/30)▷国民世論

を求めて「空襲被災のドキュメンタリー映画」上映。9月24日は、大阪空襲訴訟が結審。司法、立法とも戦後67年、軍民格差の理不尽を正せと動いた。



全国空襲連結成2周年のつどい(8/15)



東京大空襲訴訟が最高裁上告申立て提出(8/29)



議員会館「おみすてになるのですか」上映会(8/30)
(空襲議連等主催)

全国空襲連の主な活動

(1) 主な活動概要 (2011/12/17以降現在)

- 1 / 上～6 / 下
 - ・年賀状でお礼と協力のおねがい
 - ・会報No4編集と発行(2/10付)
 - ・当面の状況報告と今後の活動方向のお知らせ(3/1、3/22)
 - ・最高裁上告(お礼と挨拶5/18)
 - ・「援護法案」の送付の件(6/22)
- 1 / 中～4 / 下
 - ・会員、募金者拡大
 - ・議員連盟第5回総会
- 6 / 13
 - ・援護法の実務作業(6/中～6/下)
 - ・全国空襲連名簿点検・整理
 - ・2012年度会費・募金のお願い
 - ・政党への要請、国会議員折衝
- 6 / 中～8 / 上
 - ・討議資料の意見聴取
- 7 / 上～現在
 - ・各政党折衝
 - 8月 1日
 - ・役員会
 - 8日
 - ・郡山集会
 - 11日
 - ・運営委員会(午前)
 - ・結成2周年のつどい(午後)
 - 15日
 - ・久留米空襲を語り継ぐ会結成
 - 25日
 - ・東友会と懇談
 - 29日
 - ・映画上映院内集会
 - 30日
 - ・被団協と共同への協議
 - 9月 14日
 - ・被団協と懇談
 - 9月 24日
 - ・被団協全国代表者会議挨拶
 - 10月 3日
 - ・被団協とネットワーク化打合せ
 - 12日
 - ・被団協とネットワーク化打合せ
 - 27日
 - ・関西ブロック結成へ

(2) 地方ブロックの活動

① 関東ブロック

△千葉市空襲と戦争を語る会は、「ちば、戦争体験を考える会」と共同して活動。7月7日に千葉市空襲記念の集い2012開催。千葉市空襲犠牲者の名簿作成。8月5日に平和の集い。

△三多摩ブロックは、6月10日に空襲犠牲者と国の責任の学習交流会を開催。パンフ・全員拡大活動

② 東海ブロック

2012年3月25日にブロック結成。8月25・26両日の第42回愛知県大会開催の実行委員活動。9月24日に東海ブロックと全傷連との交流学習会。

③ 九州ブロック

佐世保市議会で援護法の促進の意見書採択。

8月25日久留米の空襲を語り継ぐ会の発足。

④ 沖縄ブロック

8月15日に「沖縄戦」被害の謝罪及び国家請求訴訟の提訴。第二次提訴(12月8日)も予定。

女学校時代に体験した横浜大空襲の惨状を証言する 小野静枝さん



未来につなぐ証言

第5回

猛火と黒煙、九死に一生得る

講師・小野静枝さん

都市空襲の恐ろしさをともに考えようと第5回連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」は昨年6月12日、横浜大空襲の体験者、小野静枝さんを講師に招き、「あの日の惨状とその後の私」と題し、都内の大学研修施設で行われた。

横浜大空襲は1945年5月29日、米爆撃機B29による焼夷弾攻撃で、推定8,000人から1万人が犠牲となった。焼夷弾量は東京大空襲を上回りながら、横浜大空襲のむごたらしい被害は東京大空襲の惨状に隠れて取り上げられることが少ない。

「警戒警報が出て学校から自宅に帰るため、JR東神奈川駅で電車の発車を待っているとき爆撃が始まりました。駅舎に火柱が上がり、ホームから線路に飛び降り、振り向いたとき、乗車するはずだった電車の全部の窓から火が噴き出していました。国道に出て横浜駅方向に逃げましたが、運送に使われていた馬が暴れて御者の手を離れ、燃え盛る炎の中に飛び込んでいくような混乱ぶりでした」

小野さんは当時女学校の2年生で13歳。あの時の生々しい体験がいまも頭にこびりついている。国道沿いに設置された防火用水の水を何度もかぶりながら、横浜駅を目指したという。

「猛火の中を焼けたトタン板や雨戸が飛び、目指す横浜駅方向に黒煙を見たとき、退路を断たれた感じで、もうどうしていいか分からなくなりました。そんな中、現れたのが見ず知らずの男子学生さんでした。私の荷物を持ってくれ、手を引いてくれました。黒煙の中を突っ込み、たどり着いた横浜駅東口広場は何百、何千という真っ黒なたまりがうずくまっていました。焼け出されて生き延びた人間のかたまり。これが私が助かったときの状況です」

小野さんは結婚後、専業主婦だったが、自身が目撃したものを胸にしまっておいていいものかと反省する時期が訪れ、空襲体験記を発表したことが縁で、「横浜の空襲を記録する会」の事務局員となる一方、神奈川県内の戦災傷害者の支援にも手を染めた。講演は語り継ぐことに力を尽くしてきた小野さんのその後の人生航路をのぞかせてくれる内容だった。

(文責・都市空襲研究会)

全国空襲連の要求実現と拡大へ 支援・理解者をひろげ世論づくり

全国空襲連の加入会員・募金者は8月末日現在650人、その内の団体加入は42団体です。この数字は、わが国の空襲被害者の1千分の1です。「空襲被害者等援護法」(仮

称)の実現のため、全国空襲連の当面の活動に取り組みつつ、支持・理解者をひろげ組織の拡大と世論づくりを、戦後67年の今、力を合わせましょう。

当面の活動

1. 国会請願の国民署名100万人達成
現在、26万人です。
2. 全国の地方自治体からの「空襲援護法要請決議」・「意見書」採択。現在、12月議会に向け東京、全国空襲被災都市・県へ要請中です。
3. 国會議員の賛同署名の促進です。議員722名の過半数以上を目指す。
4. 全国の主要都市に全国空襲連のブロックを結成し、活動拠点とする。
5. 全国空襲被害者65万人、戦争被害者1千万人に呼びかけ、歪んだ戦後補償制度を正す支援・理解者をひろげる。

ククククククク ゆがんだ戦後処理 その根底に何がある

戦後67年です。私たちが日本政府に官民の差別がない正当な補償を実現させてこなかったことが、かつて日本の植民地諸国からの強制連行、強制労働、「慰安婦」の補償問題の解決も遅らせていることと、一体ではないかと思います。

内外の未解決の戦後補償問題を解決していくために、日本の歪んだ戦後処理になっている根底に何があるかを考えてみませんか。

第1は、国民が人権のある人間扱いをされていない。

第2は、国民が国家のために存在する人間としてしか扱われていない。

第3は、その上、わが国では天皇の臣民扱いの面が残っている。

第4は、さらに軍人・軍属はお国のために、つまり天皇のため身をささげたから補償は当然という思考も残っている。

第5は、上から決められたことに差しさわりのない態度をとる国民意識がある。たとえば「長いものには巻かれろ」、「寄らば大樹の陰」や「私は知らなかった」ということ。

これを一つの見方に終らせないで、国民のために国家があるのに、国が起した戦争で民間空襲被害者のみ調査、追悼、救済もないことは、不合理と訴え、人間の尊厳を大切にする国にしたいものです。

沖縄戦被害で提訴 8月15日、遺族40人

沖縄戦の民間被害者は、死没者12万2千人のうち6万人が未補償です。8月15日、遺族40人が日本軍と米軍の行為を直接問題にする初めての提訴をしました。日本軍の「不法行為」(強制集団死など)で国の責任を問うています。さらに12月8日に第2次訴訟、南洋群島戦争被害者提訴も来年7月7日までに訴えを予定しています。

(瑞慶山茂弁護団長)

関西ブロック結成 10/27 全国空襲連

10月27日、40年来援護法の制定に精根を尽くしておられる97歳の杉山千佐子さん、全国空襲連共同代表の中山武敏弁護士らの体験、課題提起、参加者の交流をして関西ブロックの結成がされます。西日本の活動拠点として運動のひろがりへ期待されます。

全国空襲連の会費・募金者ご氏名一覧

(2012/8/31)

ご協力ありがとうございました。この表一覧は、前号以降8月31日までの間に納入された方々です。氏名公表の「否」を希望された方は掲載していません。募金など複数回の方もおられます。誤記。記載漏れがございましたら、申し訳ございませんがお知らせ下さい。

12/ 1 山之内 貞子	3/ 1 竹中 順三	3/14 岡田 広隆	4/13 永島 てる子	6/31 大出 トキワ
12/ 5 中村 志げ	鈴木 祥夫	JR東労組東京	山梨就数・光代	7/ 2 建部 衛司
12/ 8 来田 弘	小林 茂	関口 瞭子	署名者の方	7/17 岩村 秀雄
関 幸子	牧 みどり	開 彰人	4/16 署名者の方	7/23 小野 香代子
12/10 草野 和子	武政 祐治	金子 トミ	市川芳彦・弘子	7/25 中村 享子
12/17 全傷連	武藤 迪子	3/15 小川 芳子	城森 満	早稲田 矩子
12/29 小島 晋	石鍋 健	来田 弘	山口 悅代	7/27 大垣 有司
1/ 6 山本 芳子	木村 節子	3/16 長瀬 敏行	4/18 片倉 洋	早川 晃示
1/10 本郷 遼	3/ 2 藤原 進	神尾 康治	浦野 美保子	平野 艶子
1/12 川島 マス	新田 光子	保健医療福祉	署名者	石川 由美子
1/23 城森 満	松本 俊次	医財健和会	4/19 早月女 勝元	小林 重信
佐藤 靖子	高畑 勲	医財健愛会	氏名不詳の方	剣持 千賀子
新村 トシ	埼玉平和センター	メデックス	建交労長野	推朱 孝治
1/28 棚村 靖子	小林 弘	すこやか福祉	4/20 金子 由紀子	7/28 坂巻 幸雄
2/ 1 石川 雅一	3/ 5 小林 美恵子	健康サービス	4/25 新井 洋子	7/30 大島 澄子
2/ 4 棚村 靖子	菅野 弘子	南葛勤医療	5/ 2 薮田 宏	石川 徳信
斎藤 豊弘	三宮 克己	ピーシーエス	吉山 房江	加藤 威郎
2/ 8 斎藤 花子	3/ 6 木賀 美穂子	アカシア会	深井 博	田村 昇
島田 八重子	田中 喜代子	クロスライフ	5/ 3 奥川 恵司	齐藤 花子
2/10 全労連	小宮 悅子	福祉共同サービス	5/ 7 大島 廣治	吉田 栄子
2/15 金子トミ	永井 至正	東都企画	5/ 8 馬場 裕子	山本 芳子
草野 和子	相川 公一	ホスピタル・クリーン・サ	5/11 中村美智子	谷川 透
2/17 酒井 明四郎	永尾 寿孝	給食協同サービス	5/14 吉田 いさお	古家 幾久江
都教組	山之内 貞子	東都ウイング	5/15 阿部 守喬	酒井 明四郎
2/18 中島 俊子	荒川 良子	デンタル健和	5/19 山本 英典	数見 久彌
2/20 数見 久彌	小池 欣子	東都医療学院	5/23 大阪原告団	水谷 信義
石川 徳信	大野 守	3/19 古田 足日	5/29 林 とも江	神尾 康治
千葉 真佐枝	松本 和子	狹石 利美	竹内 努	青山 富美子
同上団体	堀城 秀子	中島 タマエ	5/31 浅野 隆男	浅野 俊夫
小倉 勇	静岡原水協	北凡 貴柴	多田 はつ江	吉田 由美子
川島 マス	磯田 育男	東京母親会	大出 トキワ	松本 和子
鈴木 武夫	3/ 7 星屋 衣江	3/21 新崎 郁子	浅野 隆男	三上 満
佐藤 清子	福井 節子	3/22 小林 喜己子	多田 はつ江	中村 タマエ
植松 隆一	酒井 府	枝並 規	滝川 征彦	岡田 孝一
稻葉 喜久子	利光 はる子	3/23 永田 郁子	6/ 1 鈴木 喜与子	相田 正光
佐藤 正雄	重本 健治	3/26 佐藤 龍市	有賀 由美	正田 トシ子
山田 信悟	3/ 8 青柳 一清	船橋 憲秀	6/ 4 北島 那津子	磯田 育男
奥村 一光	柴田 桂馬	早川 千代子	津石 紹雄	齐藤 邦夫
矢吹 芳郎	小川 政亮	大竹 正子	6/ 7 佐藤 正雄	田中 喜代子
中曾根 尚美	梅原 利夫	大竹 のり子	6/12 足立 豊	岩井 孝吉
野間 一夫	安井 みつ子	解同愛知県	6/13 糸谷 栄子	千葉田鶴子/治
千葉 治	川和 啓二	3/27 内記 陽子	6/18 星野 弘	井尻 勇蔵
草野 和子	3/ 9 堀切園 嘉子	3/28 鵜沢	6/19 西沢 俊次	石山 久雄
2/21 山高 悅子	高野 万子	3/29 佐久間 忠行	6/20 佐藤 正雄	木村 朝子
2/27 川口 貞勝	水野 智史	3/30 関 好雄	6/20 秦野 信代	山口 啓二
3/ 1 宮下 守夫	民医連	4/ 3 三尾 規子	6/22 岩瀬 つや子	星野 トミ江
安達 由起	千葉田鶴子	4/ 4 東 ひろたか	6/23 石井 紀子	広瀬 等
相田 正光	広島電鉄	4/ 6 早川 晃示	6/25 北村 裕之	山内 寿江
高橋 喜久子	3/12 多田 はつ江	4/ 9 春日井記録会	6/28 秦 康博	山高 悅子
足立 豊	3/13 銭谷 美代子	近藤 正仙	6/29 吉村 純美	8/ 1 元木 キサ子
芦田 千恵子	西村 日貞子	4/10 堀 美恵子	6/31 浅野 隆男	都築 和男
天野 圭子	銭谷 黎子	4/12 広田 フミ	多田 はつ江	高蝶 敏子
内田 道子	林 世志江	4/13 井上 昭二	滝川 征彦	浜野 恵男

8/ 1 金田 茉莉	8/ 2 剑持 成文	8/ 7 棚村 靖子	8/13 金子 トミ	8/20 新崎 郁子
河野 昭	藤岡 一三	千葉市語る会	草野 和子	石川 逸子
諸星 廣夫	河合 節子	鈴木 秀三郎	古田 足日	関 幸子
宮入 恵次郎	浦野 美保子	山崎 昌郎	岩田 健	8/21 川島 博久
井形 敏子	清水 雅彦	川口 貞勝	8/13 土居 和江	8/22 林 とも江
藤井 俊之	8/ 3 小林 喜巳子	矢島 和子	鈴木 賢士	上村 丈子
浅見 洋子	窪田 清子	8/ 8 蒲田 賢治	松本 俊次	8/22 佐々木二三夫
呉記録する会	伊藤 ヨシ子	望月 謙一郎	8/14 菊池 博	高橋 明子
千葉 真佐枝	飯田 マリ子	小倉 勇	家原 新子	8/23 開 彰人
辻野 喬雄	星尾 衣江	谷口 佳津枝	永田 郁子	8/24 井上 あけみ
平松 悅子	伊東文矢郎	西村 日貞子	千葉 通子	宮下 守夫
山岸 伸郎	小川 政亮	大竹 正春	8/15 杉本 百生	加藤 哲弥
牛田 守彦	松田 エイ子	民医連	服部 勝子	大柳 のり子
東京地婦連	三角 忠	五味 洋	小林 美恵子	足立 史郎
鈴木 八重	市川 まり子	草間 芳江	渡辺 美智子	森 ヒロノ
高橋 陽子	家島 昌志	三宮 克己	清岡 美知子	多田 はつ江
8/ 2 社会民主都連	8/ 4 石川 雅一	相良 乙彦	荒井 信一	8/27 小木 宏
小池 實	関 幸子	梨本 雅光	8.15集会募金	長谷 好男
小林 誠一	8/ 6 阿部 守喬	8/ 9 今井 七七子	募金集約(小園)	8/28 八木 恵美子
吉田 一人	村瀬 与志次	小池 欣子	〃(長谷川)	山口 悅代
辻 博也	坂本 悅子	田中 和宏	〃(多田)	亀井 洋子
錢谷 黎子	眞田 恒子	堀越 秀子	〃(〃)	私鉄広電支部
錢谷 美代子	中島 敏子	齊藤 勉	8/16 中山 功	8/29 小口 翼
広瀬 英治	谷川 紀子	渡辺 保雄	渡辺 重子	石川 清
樹田 久代	8/ 7 近山 ユリ子	8/10 安達 由記	北河 賢三	下町人間の会
小林 弘	小宮 悅子	大島 淡紅子	8/17 兜森 敏	川杉 元延
利光 はる子	井野 里美	相川 公一	今嶋 巳津子	8/30 藤森 光男
浜野 紗子	青木 哲夫	蒲生 真紗雄	小山田 美江子	山岸 佐津子
平田 健二	佐々木 敏美	澤田 猛	竹中 順三	8/31 平川 泰
南 政二	中村 志げ	鎌田 久蔵	労働運動センター	井上 紘一
村田 未知子	関口 力弥	8/13 永井 至正	川和 啓二	佐藤 明夫
東友会	狩野 美智子	廣川 健司	谷津 志津	

2011年度決算報告書(自2011年4月1日～至2012年3月31日)

全国空襲被害者連絡協議会

I(収入の部)	2011年度決算額	摘要
会 費	1,336,000	個人・団体からの賛同会費
募 金	987,429	個人・団体・会場からの募金
賛 同 金	2,000	協議会立ち上げへの趣旨賛同
そ の 他 収 入	31,300	
受 取 利 息	146	
(収入の部計)	2,356,875	
II(支出の部)		
旅 費 交 通 費	209,560	地方出張・弁護士交通費・搬入費
通 信 費	260,215	各種発送費用・電話
印 刷 費	480,155	文書の印刷・チラシ・ニュースの印刷
記 録 費	13,214	写真・ビデオ
事 務 用 品 費	6,472	ゴム印・他文具全般・ラベル他
事 務 所 費	720	事務所内経費
会 場 費	92,650	各種集会
支 払 手 数 料	33,415	東部会計事務所他
交 際 費	30,000	団体集会参加
振 替 手 数 料	66,150	会費・募金振替入金時の手数料
講師料・出演料	20,000	松平 晃氏
会 議 費	20,710	各種会議お茶等
備 品 費	62,409	幟旗・腕章
資 料 費	2,980	資料要覧
(支出の部計)	1,298,650	
III(I - II)差引残高	1,058,225	

IV 前期繰越財産	現 金	27,390
	郵貯 NOI	799,405
	郵貯銀行	203,320
	短期借入金	△5,000
	救援募金仮受	△194,300
	(正味財産)	830,815
V 次期繰越財産	現 金	29,921
	郵貯 NOI	605,031
	郵貯銀行	1,256,088
	救援募金仮受	△2,000
	(正味財産)	1,889,040

(前期繰越正味財産830,815 + 本期収支残高1,058,225)

※2012年2月22日

救援募金(日本ユネスコ協会) 1,061,846円

空襲被害者等援護法(案)を実現する議員連盟の加盟議員の方は、現在(10月20日) 51名です。
議員の過半数加盟へ共に。